

				<p>能・表現】</p> <p>3. 上記②を基盤とし、合奏や合唱などのアンサンブルを通して、協調性、社会性を身につけている。【関心・意欲・態度】【思考・判断】【技能・表現】</p> <p>4. 専門分野のみならず幅広い教養を身に付け、音楽関係、教育関係、一般企業など様々な分野で活躍する能力を身につけている。【関心・意欲・態度】【思考・判断】【技能・表現】</p>
--	--	--	--	---

### 3. 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーの提示する学位取得の要件を満たすことを目指す学生に対して、本学は次のような科目から成る教育課程を提供します。

- ①社会に適応しつつもそれを改革できる人物に必要とされる、専門性にとどまらない教養を涵養するために、本学が、多様な専門教育機関を有する総合大学であるがゆえに提供できる「共通教育科目」を配置する。
- ②文化・文明の進歩に貢献する、高度に専門的な知識・技能を開拓・活用できる人物となるために、本学の各学部学科が提供する「専門教育科目」を配置する。

#### 【学習成果の評価（アセスメントポリシー）】

- ①各授業科目において、到達目標及び成績の評価基準・方法を明確に周知する。
- ②成績の評価は到達目標への到達度を目安とし、成績評価基準に基づき、厳格な評価を行う。
- ③ディプロマ・ポリシーに基づく学生の学習過程を重視し、学習成果の全体を評価する。

生活科学科		保育科	言語コミュニケーション学科	音楽科	商科
生活科学専攻	食物専攻				
<p>生活科学専攻は、「ものづくり（ブランド・ファッション）、パティシエ、デザイン・アート」業界で働くための教養と基礎知識、そして業界別の専門能力を養成するという教育目的、ディプロマ・ポリシーを実現するために、下記の教育を編成している。</p> <p>1. 1年次</p> <p>1) 社会に必要な知識と教養を身につけるために一般総合科目と、キャリア能力を養成する講義科目を配置する。</p> <p>2) 専門能力を養成するうえで基礎知識となる、ライフスタイルを学ぶ講義科目を配置する。</p> <p>3) 専門能力養成の重要な基礎技能である、デザインスキルとカラースキルを養成する講義や演習科目を配置する。</p> <p>4) ブランド・ファッション、パティシエ、デザイン・アートの各専門業界における基礎知識や基礎技能を習得する講義や演習科目を配置する。</p>	<p>食物専攻は、栄養士・食のスペシャリストを養成するというディプロマ・ポリシー実現のため、次の方針で編成している。</p> <p>1. 教育内容・方法</p> <p>1) 社会人に必要とされる幅広い教養を身につけるため一般総合科目を配置し、「文理学」で調理の基礎や食文化を学ぶ内容を設定している。</p> <p>2) 1年次は、食品・栄養・調理に関する専門的な知識を理解するため、前期に講義を中心とした基礎的内容を学習し、後期に実験・実習で検証するよう設定している。</p> <p>3) 学生が幅広く関心のある科目を履修できるように、栄養士の基礎科目及び専門科目に加えて、食品関係資格に通ずる科目、教職に関する科目を設置し、アクティブラーニングを積極的に取り入れている。</p> <p>4) 2年次は、基礎から応用につながる</p>	<p>保育科のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに明記している保育者として必要な能力を習得するために次の方針で編成している。</p> <p>1. 2年間で、全学生が保育士資格及び幼稚園教諭2種免許状を取得することができる。</p> <p>2. 社会人として求められる幅広い教養を身につけ、心身ともに健康な人間を育成するために、一般総合科目を配置している。</p> <p>3. 保育者の養成科目について、順序性を考慮し編成している。</p> <p>4. 子どもの心身の発達について広く理解し、支援について学ぶために、子どもの心身の発達に関わる科目を配置している。</p> <p>5. 保育者の役割と倫理について理解し、保育・教育の意義や内容・方法についての理解を深めるため、専門知識・技術の修得に関わる科目を配置し</p>	<p>言語コミュニケーション学科のカリキュラムは、次に挙げるディプロマ・ポリシーによる要件に連動させながら編成している。</p> <p>1. 言語に対する分析的な視点を形成するため、また、自分が暮らす国や地域の文化ならびに異文化に関する理解を深めるため、専門教育科目のうち「言語とコミュニケーション」と「日本語表現法」の履修を奨励し、「英米文化論」、「英米文学」、「異文化間コミュニケーション」、「日本文化論」、「日本文学」などを専門教育科目の核として設置している。また、英語の基礎・実践的英語力の養成分野においては、「英会話」や「実践英語」などの専門教育科目群を設置している。</p> <p>2. 読み解く技術を習得するため、また、相手を説得できる表現能力を養成するため、「プレゼンテーション演習」などの専門教育科目を軸に、学んだ事柄</p>	<p>短期大学部音楽科は、ディプロマ・ポリシーを実現するために、下記の教育を実施する。</p> <p>●音楽療法コース</p> <p>1. 全学年を通して、全国音楽療法士養成協議会の定める「音楽療法士（2種）養成の教育課程」にしたがい、音楽、音楽療法、音楽療法関連の各分野を学ぶための科目を順次配置する。</p> <p>2. 1年次は、幅広い教養を身につけるための「一般総合科目」と、音楽療法士に必要な演奏能力を養うために、基礎的な内容の「理論系科目」、「演習系科目」、「実技系科目」を配置する。そして音楽療法を概観する「音楽療法概論」、「音楽療法演習」を配置する。</p> <p>3. とくに1年次後期には、2年次より開始される実習に備え、「音楽療法概論II」として、アメリカ音楽療法協会発行の臨床実施基準（AMTA Standards of Clinical Practice）にもとづき、</p>	<p>商科のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに明記している能力を習得するために次の方針で編成している。</p> <p>1. ディプロマ・ポリシーを実現するために5つの科目群を配することで、履修科目が特定領域に偏ることなく、社会人に求められる幅広い知識を身につけることが可能となる。科目群は「教養」、「キャリア能力」、「コミュニケーション能力」、「実務能力」、「専門能力」の5つである。</p> <p>2. 各科目群における科目の配置は以下の通りである。「教養」には社会人として弁えるべき話術、礼儀やマナー、情報の取扱の基本、生活を規律する基本的な法律を1年次の科目として配置している。「キャリア能力」科目群は、入学後1年足らずで就職活動が始まることに鑑み、社会人としてのキャリア形成や人生設計を自らの力で方向付けをするた</p>

<p>2. 2年次</p> <p>1) ファッション、パティシエ、デザイン・アートの各分野では制作技能の向上を図る演習科目を配置し、卒業制作展で発表している。</p> <p>2) パティシエのため、食品に関する専門的な知識を修得する講義科目を配置する。</p> <p>3) プライダルコーディネーターではプライダルファッションショーの開催という共同作業を通じて、プライダル業界の知識修得のみならず、社会における基本的思考能力や状況判断能力を養成するようにしている。</p>	<p>ような講義と実験・実習を取り入れ、卒業時に応用・実践力をそなえた栄養士を育成するため、系統立てた教育内容を実施している。</p> <p>5) 向上心を持ち積極的に学び続ける姿勢を身に付けるため、食品や栄養学的な知識を基にした調理技術、ライフステージおよび疾病に対応した献立作成能力、食育を行える栄養指導能力をつけるなど、多様な実験・実習科目を提供している。</p> <p>6) 2年後期の「給食運営管理実習（臨地実習）」では、集団給食施設において、これまで学習した専門的知識と技術を統合するとともに、チームの一員として役割を理解し、協調性を持ちかつ主体的な行動がとれるような育成を目指している。</p> <p>2. 教育評価</p> <p>学習成果は、各科目シラバスに到達目標と成績評価方法を明記し、それに基づいて到達度を評価する。またGPAを算出し、総合成績評価を行っている。</p>	<p>ている。</p> <p>6. 保育現場での課題を発見し、新たな課題に対し自主的に問題解決に取り組むことができる柔軟で創造的な思考力を持った人材を育成するために、実習科目、保育・教職実践演習（幼稚園）を配置している。</p> <p>7. 学生の主体性と協調性を養うことを目的とし、保育セミナー、おとぎのくに、ペンギンクラブ、子育て支援体験などの学科行事に参加・推進する機会を設けている。</p> <p>8. 個々の学生の個性を伸ばし、表現力を養うことを目的として「音楽」等独自の科目や「おとぎのくに」など対外的な行事を設けている。</p> <p>9. 社会の一員としての自覚を持ち、地域の人々と良好な関係が築けるよう、子育て支援のボランティア活動への参加を、キャリア教育の一環として推奨している。</p>	<p>の実践的な運用ができるような訓練を繰り返す。</p> <p>3. チームで働く力を養成するため、また、将来的な職業生活・生涯学習に活かす素地を確立するため、主に「キャリアアプランニング」、「観光総論」、「旅行業務入門」などの専門教育科目群を設置し、社会人としての基礎力を養う。</p>	<p>1) 紹介と受け入れ、2) アセスメント、3) 治療計画、4) 実施、5) ドキュメンテーション、6) 終結、という実践のプロセスを徹底して学ぶ科目を設ける。</p> <p>4. 2年次の「音楽療法実習」では、「事前指導」を配置し、教員および学生間による援助を大きく受けながら、地域の病院、福祉施設等の高齢者のニーズを特定し、グループ音楽療法サービスを実践する機会を提供する。</p> <p>5. 2年次の「音楽療法実習」において、地域で自身がおこなったセラピーについてテーマを設定し、プレゼンテーションをおこなうことをもって「卒業研究」とする。これにより、自らの探求する力、また音楽療法を他者に伝え、説明する力を養う機会を創出する。</p> <p>●演奏コース・ニューサウンドコース・総合音楽コース</p> <p>1. 1年次は、音楽の学修方法を基礎から学ぶと同時に、音楽に対する学修意欲を高めるため、基礎的な内容の「理論系科目」、「演習系科目」、「実技系科目」を配置する。また、幅広い知識を身につけるための一般総合科目を配置する。</p> <p>2. 一部の演習系科目と実技系科目においては、習熟度別のクラス編成を行い、一人ひとりの個性を重視する体制を構築している。</p> <p>3. 全学年を通して、「理論系科目」、「演習系科目」、「実技系科目」において、基礎的な内容から専門的な内容の科目まで、順次配置する。</p> <p>4. 中学校教員免許（2種）を取得するため、また音楽指導者をめざすための科目として、全学年を通し、「教育系科目」を順次配置する。</p> <p>5. 音楽療法士（2種）を取得するための科目として、全学年を通し、「音楽療法系科目」を配置する。</p> <p>6. 2年次修了時には、卒業研究として専攻実技の卒業試験を実施し、2年間の研究成果を評価する。</p> <p>7. 「卒業演奏会」を開催し、卒業試験における成績優秀者には発表する機会を提供する。</p>	<p>めの科目を配置している。「コミュニケーション能力」科目群には、コミュニケーション能力を育む科目を配置している。「実務能力」科目群には、簿記やパソコン、医療事務やビジネススキルに係る科目を配置している。これらの科目は、ビジネス社会で能力評価の参考とされることが多く、資格取得により到達レベルの判定が可能である。「専門能力」科目群には、経済、商業・経営、および法律系科目を配置している。なお、簿記とパソコンはビジネスの幅広い領域で必要とされることに鑑み、一部を必修科目としている。また、経営学および経済学も、社会の現状を捉える際の基本的領域と判断し、一部を必修科目としている。</p>
--	--	--	---	---	---